

# キバナキョウチクトウ



|    |                                |
|----|--------------------------------|
| 学名 | Thevetia peruviana             |
| 科名 | キョウチクトウ                        |
| 別名 | キバナセベティア                       |
| 区分 | まちかど しょうぶつ<br>街角の植物            |
| 分布 | にし しょうとう げんさん<br>西インド諸島、メキシコ原産 |

## 説 明

きいろい はな さ はな  
黄色い花を咲かせ、キョウチクトウに似た葉をつける  
ことからキバナキョウチクトウと呼ばれています。  
はな はんぴら じょうたい さ じゆえき どくせい  
花は半開きの状態で咲きます。樹液は毒性があるので  
ひふ つ ちゆうい ひつよう ねったい  
皮膚に付かないように注意が必要です。熱帯アメリカ  
げんさん たか じょうりよく ちゆうぼく  
原産で、高さ4mくらいになる常緑の中木です。

|      |               |
|------|---------------|
| 葉の形  | せんけい<br>線形    |
| 葉の縁  | ぜんえん<br>全縁    |
| 葉の先  | えいけい<br>鋭形    |
| 葉の種類 | たんよう<br>単葉    |
| 葉の付方 | ごせい<br>互生     |
| 葉の基部 | くさびがた<br>くさび形 |
| 実の種類 | かくか<br>核果     |
| 花・萼色 | きいろ<br>黄色     |